高生の丘

北九州市立高生中学校
学校通信　修学旅行号　No.３
発行責任者　校長　寺田　訓康
ＴＥＬ　８８１－３２７６
平成２９年５月１８日発行

■ 意義ある修学旅行ができました。

《これからの学校生活が楽しみです。》

新学期が始まって間もない５月１０日（水）から３年生は、修学旅行に出かけました。「千古不磨（優れた伝統や芸術が、いつまでたってもなくならないこと）」のスローガンの下、８２名全員揃って出発できました。古都の歴史に触れ、勉強するだけでなく、新しい友だちとの信頼関係を築くよい機会になって欲しいと、先生達は思っていました。

コースは、５月１０日（水）小倉駅集合(8:40)→のぞみ 18 号(9:49)→京都班別研修(13:00)→宿泊地（滋賀県きくのや）、１１日（木）延暦寺（座禅体験）(9:00)→金閣寺(10:00)→奈良公園・東大寺(12:40)→法隆寺(15:30)→宿泊地（兵庫県ウエスティンホテル淡路）(18:50)、１２日（金）明石海峡大橋下（学年写真）(8:40)→北淡町震災記念公園(9:20)→メリケンパーク(12:00)→新神戸駅(13:15)→のぞみ 27 号(13:56)→小倉駅解散(16:15)という、特に１１日は厳しい行程でした。しかし、82名みんなが、楽しむときは楽しみ、行動するときは集中して行動するというメリハリの利いた行動で、渋滞で遅れた時間も取り戻すことができました。

修学旅行生でいっぱいの金閣寺

82 名それぞれ感じたことはあったと思いますが、先生は、まず最終日の北淡町震災記念公園が印象に残りました。先生が印象に残っている地震として、阪神大震災(1995 年)、福岡西方沖地震(2005 年)、東日本大震災(2011 年)、熊本地震(2016 年)があります。どの地震も、甚大な被害があり、多くの方の命が失われました。しかし、その地域の方々は、そのような場面でも、まず、幼い子どもや年老いた方、体の不自由な方に労わりの心を忘れませんでした。自分も困っているのに、お互いに助け合う心も忘れませんでした。これに対して、今の私達はどうでしょうか。今回の修学旅行でも、わがままな自分勝手な行動がありませんでしたか？どのような場面でも、思いやりの心を忘れないこと、きちんとルールを守ることは「千古不磨」にしたいですね。（福岡西方沖地震のとき、先生は川が近くにある学校で部活動をしていました。（この日は祭日でした）いつもは元気のよい一人の生徒から、「先生、津波は大丈夫ですか？」といわれたことを思い出します。その時は、そんなこと（津波）、あるわけがないと思っていたのですが、それから 6 年後の東日本大震災では、信じられないような津波が襲ってきました。油断してはいけませんね。）

もう一つは、延暦寺の座禅体験です。先生は、座禅とは自分の心を落ち着かせるために、そして、最後は悟りの境地に行き着くために行うものと思っていました。座禅の最中に、先生も「顔がかゆい」「あの音はなんだろう？」「みんな何してるのだろう？」「呼吸の数え方が違ってる」など気になってしょうがありませんでした。やはり、「20 分くらいでは意味がないな」と思っていました。しかし、御住職の「そのように考えるあなたがいることを知ることに意味がある。」との言葉に、なるほどと思いました。何か大事な場面で「私は、逃げてしまうことがある」とか「いい加減に考えることがある」と知っておくことは、大切なことだと思います。自分が知らない「私」に会うことができた座禅の体験は価値があったと思います。

延暦寺での座禅体験の様子

他にも、いろいろな体験を通して、多くのことを感じられたのではないでしょか。先生も含めて、この経験を、どう活かしていくかが大切ですね。事後指導の中でも、皆さんの良い面をたくさん聞かせてもらいました。この旅行を通して、3 年生 82 名の皆さんがどのように変わるか楽しみですね。1，2 年生の皆さん、修学旅行を通して 3 年生がどのように変わったか見てください。そして、皆さん達もこれから行われる宿泊行事を通して、よい意味で変っていってほしいと思います

■ ふれあい合宿に行きます。

＜友だちの良い面を見つけよう！＞

1 年生の皆さんは、5 月 19 日（金）～21 日（日）に「かぐめよし少年自然の家」に「ふれあい合宿」に出かけます。

入学して 1 ヶ月がたちました。そろそろ中学校生活にも慣れてきたと思いますが、中学校生活をより充実させるためには友だちとの信頼関係が大切です。「かぐめよし少年自然の家」には、普段私達が使っているテレビや携帯電話といった便利な道具はありません。その分、友だちとゆっくり語り合うことができます。今まで知らなかった友だちの姿を見ることができます。そこでお願いがあります。おしゃべりな人を見て、「うるさい」と感じる人も「明るい」と感じる人もいます。是非、肯定的な見方（良い面を見ること）をしてください。「あばたもえくぼ」（自分で調べてみてください）という言葉があるように、人を好きになると、欠点もよく見えます。まず友だちを好きになり、友だちから信頼され、友だちを信頼できると充実した中学生活が過ごせます。

是非ふれあい合宿を通して、友達との信頼関係を築いてください。そして、先生との信頼関係も深める機会にしましょう

※なお、農村民泊体験学習（2 年）については次回紹介します。